

一般質問



神田 員議

○松浦火力発電所電源開発1号機休

廃止予定に伴う影響について

質 松浦火力発電所電源開発1号機休
止問題を受け、これまでの取り組みと今後の対策について、市長の見解を伺います。

市長 国から非効率な火力発電所の段階的な廃止が示されて以降、現火力発電所の存続について、長崎県や長崎県議会に対し、市議会とともに要望を行ってきました。

また、電源立地自治体およびその周辺自治体で構成される九州地方電源地域連絡協議会においても、直接、国に対し要望を行つてきました。今後も火力発電所の存続・脱炭素化に向けて、両電力会社と情報を共有し、県とともに国に対し機会を捉え、積極的に要望を行つていきたいと考えています。

質 松浦火力発電所電源開発1号機が廃止になることも想定して、跡地活用も同時に進めていく必要があると考えるが、市長の見解を伺います。

市長 仮に1号機が休廃止、予備電源化となる場合、2号機は、アンモ

ニア専焼やCCS（二酸化炭素回収・貯留技術）を導入していく方向性であることを電源開発株等から伺っています。CCSの実現に向けては大規模な附帯設備と敷地が必要であり、その設備に関わるメンテナンスなどの人員も必要になります。

火力発電所の脱炭素化に向けて、県とともに国に対し要望し、電源開発株にも働きかけていきたいと考えています。国会議員に対し、CCSの取り組みに対する国の支援を引き続き要望していきたいと考えています。

○繁殖牛農家への支援策について

質 県北地域で畜産人工授精師や受精卵移植の免許取得希望者のニーズがあれば、県北地域の首長と連名で知事に要望書を提出していただきたいが、市長の見解を伺います。

市長 人工授精師の資格を取つて自分で人工授精することによる経費削減や受精卵移植に取り組むことは、畜産經營を安定させるための取り組みの一つと考えています。

J A ながさき西海管内の県北地域3市2町や関係機関で構成する県北地域和牛改良推進協議会から要望であります。12月末にこの協議会総会が予定されていますので、そこで提案をしたいと考えています。

総務委員会

文教厚生委員会

【議案】令和6年度松浦市一般会計補正予算（第6号）関係分について

歳入歳出予算それぞれに9億2343万3千円を追加し、歳入歳出をそれぞれ198億6188万1千円とする件を審議しました。

（歳入） 歳入についての主な内容は、国庫支出金3億173万7千円、県支出金1億3026万円、寄付金2億6515万3千円の増額となっています。

（歳出）

○基金積立金1億3千万円の計上にかかる内訳について、地域振興基金積立金1420万8千円の減は、基金積み立て先の精査による減であり、同額を庁舎建設整備基金積立金に積み立てるものでした。また、ふるさとづくり基金積立金9100万円の増、子育て支援基金積立金3900万円の増については、ふるさと納税の増に伴う基金への積み立てでした。

○鷹島中学校の生徒が昭和バス路線廃止により鷹島タクシーを利用するための補助金として8万8千円が計上されました。

○鷹島中学校の生徒が昭和バス路線廃止により鷹島タクシーを利用するための補助金として8万8千円が計上されました。

いずれも行政事務ならびに事務遂行に必要な補正であり、妥当と認めました。

【議案】令和6年松浦市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について

○集団、個別健診の受診者が当初の予想より増加となり、健康診査委託料として77万5千円が計上され妥当と認めました。